


# 第 45 回国際日本文学研究集会 予稿集

THE 45<sup>th</sup> INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE

2022 年 5 月 14 日(土)～5月 15 日(日)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 

NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE  
NATIONAL INSTITUTES FOR THE HUMANITIES

使用言語 日本語



# 第 45 回国際日本文学研究集会 予稿集

THE 45<sup>th</sup> INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE



## 開催にあたって

国際日本文学研究集会は、日本文化、日本文学に関する国際的な研究集会をもちたいという国内外のかねてからの声に応える形で、1977年11月に第1回が開催されました。同年6月に国文学研究資料館の開館式が行われておりますから、この集会はまさに当館と歩みとともにしてきた事業の一つといえるでしょう。

以来、本集会は「国内外の日本文学研究者による研究発表と討議により、広い視野からの日本文学研究の進展を図り、研究者相互の国際交流を深める」という設立趣旨のもと、継続して開催され、国文学研究資料館創立50周年にあたる2022年をもって第45回を迎えることとなりました。

この間、日本文学・文化研究のあり方は多様化し、国際的な研究集会や学会も増えてきましたが、本集会は当初の設立趣旨を受け継ぎつつ、日本文学研究のさらなる広がりへと未来に目を向けていきます。国内外の研究者、さらには若手研究者の発表を歓迎いたします。

2022年4月

国文学研究資料館 国際連携部

国際日本文学研究集会は国際連携委員会の審査のもとに運営されています。

### 【国際連携委員会委員】

おくの くみこ 奥野 久美子 大阪公立大学大学院文学研究科 教授

こうの きみこ 河野 貴美子 早稲田大学文学学術院 教授

さいとう まさお 斎藤 理生 大阪大学大学院文学研究科 教授

すずき けんいち 鈴木 健一 学習院大学文学部 教授

にいみ あきひこ 新美 哲彦 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授

ひらの たえ 平野 多恵 成蹊大学文学部 教授

ジョナサン ズイッカー Jonathan Zwicker カリフォルニア州立大学バークレー校 准教授

ビュールクトーヴェ ヨハンナ Bjoerk Tove Johanna 埼玉大学人文社会科学部 准教授

かんさく けんいち 神作 研一 国文学研究資料館 副館長

ふじざね くみこ 藤實 久美子 国文学研究資料館 教授 研究主幹

さいとう まおり 斎藤 真麻理 国文学研究資料館 教授

ダヴァン ディディエ Davin Didier 国文学研究資料館 准教授

やまもと よしたか 山本 嘉孝 国文学研究資料館 准教授

ノット ジェフリー Knott Jeffrey 国文学研究資料館 助教

# 目 次

## ■研究発表■

(発表要旨) 発表資料ページ

### 第1セッション

- 日本中世における『無門関』の受容  
—『無門関』の抄物の編纂と成立を中心に

リ カ ウ  
李 華雨……………(2) 3

- 日本近世文学にみる中国善書の影響  
—仏教説話集『合類大因縁集』を例に—

トウ コウ  
董 航……………(7) 8

- 堀孤山の生涯とその交遊

モク カイウ  
沐 海宇……………(12) 13

### 第2セッション

- 安部公房初期作品にみる帝国軍人イメージの変遷

カイ ホウ  
解 放……………(17) 18

- イシグロ『上海の伯爵夫人』における日本人像

リン シュクタン  
林 淑丹……………(22) 23

### 第3セッション

- 京都市歴史資料館寄託、賀茂季鷹書写

カネコ エイワ  
金子 英和……………(27) 28

- 『定家卿五十首詠草』の資料価値

- 同音異義表現の外国語訳についての検討と実践  
—「あき(秋・飽き)」と「かる(枯る・離る)」を例に—

フィットレル アーロン  
FITTLER Aron……………(32) 33

- AI 和歌の文学的特徴分析

タケイシ ユウカ キン チュウ  
武石 悠霞、金 中……………(37) 38

- Dice係数による類似和歌検索方法の導入を合わせて

## 第4セッション

明治期戦争物浄瑠璃のリアリティ

<sup>カワシタ トシフミ</sup>  
川下 俊文……………(42) 43

—時代物の作品構造に対する考察—

久保天随『新訳演義三国志』

<sup>リョウ ウンカン</sup>  
梁 蘊嫻……………(47) 48

—文化翻訳問題をめぐって

## ■インフォメーション・セッション発表■

明治における喜遊物語の誕生と分化：テキストの「文脈化」の一例

<sup>スズキ サエコ</sup>  
鈴木 紗江子……………(54)

宮沢賢治の詩における四次空間の思想をめぐって

<sup>ザ ベ レ ジ ナ ヤ オリガ</sup>  
ZABEREZHNAIA Olga……………(55)

角野栄子『トンネルの森1945』論

<sup>オウ エイブン</sup>  
王 盈文……………(56)

—戦時下の子どもを取り巻く状況—

アダプテーションと〈文化の盗用〉

<sup>ヤブキ アヤノ</sup>  
矢吹 文乃……………(57)

近世詩人伝記と作品の小型データベースを使った可視化ツール

<sup>フィンク ウィクトル</sup>  
FINK Victor……………(58)

発表者紹介 ……………60

プログラム ……………66





## **第45回国際日本文学研究集会予稿集**

2022年 4月 25 日発行

編集・発行 **大学共同利用機関法人 人間文化研究機構**  
**国文学研究資料館**

〒190-0014

東京都立川市緑町 10-3


電話 050-5533-2911

FAX 042-526-8604

URL <https://www.nijl.ac.jp/>



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 

NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE  
NATIONAL INSTITUTES FOR THE HUMANITIES